

2 第14回認定 地域再生計画の概要

| 番号 | 都道府県名 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生の名称 | 地域再生の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 | 地域再生の 支援措置の 番号 | 支援措置の内容 |
|----------------|-------|--------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|----------------------|------------------------------|
| 新規計画 7件 | | | | | | | |
| 1 | 秋田県 | 仙北市 | 観光産業を活かした雇用 機会創出プラン | 仙北市の全域 | 仙北市では、観光振興、農林業振興、商業物産振興の3つの分野に重点を置き、産業間相互の連携・波及効果による地域資源を活用した観光産業の振興、また、増加傾向にある外国人観光客とのコミュニケーション能力を有する人材、地元特産品の販路拡大を担う人材等を育成するセミナー等を実施することにより、新たな雇用の創出、拡大を図り、本市が目指す将来像「観光産業を活かした北東北の交流拠点都市」の実現を図っていく。 | B0902 | ・地域雇用創造推進事業 |
| 2 | 島根県 | 西ノ島町 | 公営住宅(浦郷・美田地区)有効活用構想 | 島根県隠岐郡西ノ島町の区域の一部(浦郷及び美田地区) | 西ノ島町は、人口増加や漁業担い手確保のために各施策を行っており、近年、住宅需要が上昇している。西ノ島町には民間賃貸住宅が存在しないため、空家の有効活用、住宅新築により住宅需要に対応しているが、それでも住宅不足の状況となっている。一方、公営住宅では入居者の高齢化等による空家の発生が見込まれるため、本支援措置を有効活用し、公営住宅への入居資格者以外の者の一定期間受入を可能にすることで、住宅需要への対応、産業の担い手の確保、住宅地域コミュニティの維持を図り、地域の活性化につなげる。 | A1202 | ・公営住宅における目的外使用承認の柔軟化 |
| 3 | 広島県 | 世羅町 | 環境にやさしい地域づくり 計画 | 広島県世羅郡世羅町の全域 | 世羅町においては農業、特に畜産業が中核的産業である。しかしながら、畜産事業者の大規模化、近年の環境問題への住民意識の高まり等により畜産環境問題が顕在化している。一方で、飼料高騰等による生産コストの上昇は畜産経営を圧迫している。このため、持続的な畜産経営体を育成するためには家畜排せつ物の適切な処理とともに、畜産物の低コスト生産体制の構築が必要である。そこで、家畜排せつ物を含めたバイオマス資源の有効活用を図る計画の策定、施設整備を推進するとともに、新たな低コスト生産システム整備を推進する。 | B1003 B1005 | ・地域バイオマス利用交付金 ・強い農業づくり交付金 |
| 4 | 熊本県 | 荒尾市 | 地場産業の新分野進出と マイスター育成による雇用 機会の増大 | 荒尾市の全域 | 地場産業のつながりによる内発的かつ創造的な雇用の受け皿の創出をおこなうため、農工学連携での経営革新や新分野進出のための取り組みを、異業種交流事業や地域力連携拠点事業により支援を行う。それとともに雇用の促進を促すためにも地域雇用創造推進事業(パッケージ事業)を活用し雇用者、求職者双方のより専門的能力向上を図りながら、農商連携、農工連携、福祉サービス分野における就業促進等の支援を行い地場産業力の底上げを図る。 | B0902 | ・地域雇用創造推進事業 |
| 5 | 鹿児島県 | 南大隅町 | 最南端の地域資源を活用 した雇用創造計画 | 鹿児島県肝属郡南大隅町の全域 | 南大隅町の基幹産業は農業等の第一次産業であるが、著しい人口減少、高齢化により生産額は減少し、耕作放棄地の増大やコミュニティ機能の低下等、厳しい状況が続いている。そこで、「地域雇用創造推進事業」を活用して、基幹産業である農業技術者育成や、本町の農林水産物や自然環境等の地域資源を活かした加工・製造技術者育成、また、新規創業・既存事業者の事業拡大支援等を行い、第六次産業化を展開・拡大し雇用創出を図り、少子高齢化により低迷する経済活性化を目指す。 | B0902 | ・地域雇用創造推進事業 |

2 第14回認定 地域再生計画の概要

| 番号 | 都道府県名 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生の名称 | 地域再生の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 | 地域再生の 支援措置の 番号 | 支援措置の内容 |
|----------------|-------|--------------------|-----------------------------|----------------|---|----------------------|------------------------|
| 6 | 沖縄県 | 名護市 | 名護市地域雇用創造プラン | 名護市の全域 | 名護市は、日本で唯一の金融・情報特区に指定され、雇用の創出を目的に情報通信金融関連企業の誘致を積極的に推進している。しかしながら、本市における若年層(15歳～29歳)の失業率は19.4%と非常に高い状況が続いており、雇用機会の創出に伴う人材の育成・確保が求められている。そこで、本市の第4次総合計画において、重点プロジェクトと定められている「金融・情報通信国際都市構想の推進」と連動し、金融・情報特区に係る人材を育成し、更なる雇用の創出を図る。 | B0902 | ・地域雇用創造推進事業 |
| 7 | 沖縄県 | 伊江村 | 地域資源を活用した「ハイビスカス物語」創出プロジェクト | 沖縄県国頭郡伊江村の全域 | 伊江村は、「夕日とロマンのフラワーアイランド」をキャッチフレーズに地域活性化に取り組んでおり、キャッチフレーズにもなっている花を活用した地域特産品（加工商品）の開発に取り組んでいるところである。一方本村では5年間の実証試験としてさとうきびからバイオマスエタノールを製造する実証プラントを整備し、その実証試験を無事終了した。今回既存の当該施設を利用して地元の原料を利用したハイビスカス酒や、地ソーダ等の地域特産品を製造し、地域活性化、雇用の創出を図り、地域経済の自立へ向けた取組みを推進する。 | A1001 | ・農林水産関係補助対象施設の有効活用 |
| 変更計画 2件 | | | | | | | |
| 1 | 栃木県 | 栃木県、那須烏山市 | 小さくともキラリと光る那須烏山市活性化計画 | 那須烏山市の全域 | 那須烏山市は、平成17年に旧南那須町と旧烏山町が合併して誕生した人口3万1千人の市である。賑わいを復活させ、合併した両町の一体感を醸成するには、秩序ある地域開発を促進し、人口の定住化と各種産業の調和がとれた「小さくともキラリと光る那須烏山市」を目指す必要がある。このため、地理的特性等を踏まえ、市内を4つのゾーンに設定し、それらと連携した市道、林道の整備を図る。道路ネットワーク化の構築を進めるとともに、賑わいの復活を図り、地域の再生を目指す。また、生産拠点施設を整備し地域農業の活性化を図る。 | A3001 B1005 | ・道整備交付金 ・強い農業づくり交付金 |
| 2 | 長野県 | 諏訪市 | ものづくりメッセ諏訪構想に基づく諏訪地域再生計画 | 諏訪市の全域 | 諏訪地域はものづくりの発祥の地として製造業が発展してきたが、近年経営環境の厳しさが増している。そこで、当地域の強みでもあるものづくりを中核としたまちの再生を目指す「ものづくりメッセ諏訪構想」に基づき、工場跡地の文化芸術・観光の交流拠点としての活用や諏訪圏工業メッセの継続開催など、研究開発、人材育成等を通じて、精密機械等工場産業の活性化、雇用創出、文化観光振興による交流人口の増加を図る。 | A2004 | ・地域再生支援利子補給金 |